

始良市子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------|
| 会議名 | 令和2年度第2回始良市子ども・子育て会議 | |
| 日時 | 令和2年10月12日（月）18：30～19：45 | |
| 会場 | 始良公民館2階会議室1・2 | |
| 出席者 | 委員 | 委員11名〔うち会長（議長）1名 委員10名〕欠席4名 |
| | 市職員等 | 保健福祉部長、子どもみらい課長、子ども政策係長、保育係長、子ども福祉係長、母子保健係長、子どもみらい課2名 |
| 傍聴人 | 0人 | |
| 協議等内容 | | |
| <p>審議</p> <p>① 施設整備計画について</p> <p>報告</p> <p>① 始良市立保育所等民営移管にかかる法人選考について</p> <p>② 子育て支援拠点施設事業について</p> <p>その他</p> | | |
| 配布資料 | | |
| <p>① 施設整備計画について</p> <p>② 始良市立保育所等民営移管にかかる法人選考について</p> <p>③ 子育て支援拠点施設（仮称）子ども館アンケート集約結果報告書</p> | | |
| 事務局より本会議の公開について説明 | | |
| ⇒（事務局）本会議は、公開で行う。市ホームページで傍聴を募ったが傍聴希望者なし。 | | |
| 審議 | | |
| ① 施設整備計画について | | |
| （事務局）資料①に基づき説明。 | | |
| ●整備計画の取下げについて | | |
| <p>過日実施された子ども・子育て会議にて審議済みの整備計画について、2事業者より取下げの申し出がなされた。「ニチイ学館」は小規模保育事業所の設置を計画していたが、建設予定地の選定及び連携施設の確保が難航し、令和3年4月1日での開所が困難となり今後の計画も不透明であったため、取下げとなった。</p> <p>「建昌福祉会」は定員30人の幼保連携型認定こども園の設置を計画していたが、現在選考中である始良市立保育所等の民間移管に係る法人選考に応募しており、開所予定時期が移管期日と重なることから、もし2施設同時に運営開始することとなれば人員確保等の負担が大きくなるため、民間移管を優先したいとのことで取下げとなった。</p> | | |
| ●新規整備計画について | | |
| <p>社会福祉法人太陽の風より定員を70人とする認定こども園設置の要望有。法人の実績としては、認定こども園を1施設と小規模保育所を1施設運営。建設予定地はやすらぎ葬祭重富斎場近く。事務局としては、本計画が待機児童解消に寄与することや、定員約50人分の施設整備計画が取下げとなったことを鑑み、承認したいと考えている。</p> | | |

①（委員）質疑：直近の待機児童の数は何名か。

⇒（事務局）91名（令和2年4月1日時点）。待機児童について例年2回（4月1日付、10月1日付）県へ報告することになっているが、10月1日の数字はまだ確定していないことから直近は令和2年4月1日の91人となる。

②（委員）意見：始良市の総合計画では2026年に待機児童0人を謳っている。一方で、子育て支援事業計画における「児童数と将来推計」は0～5歳の数が令和元年から令和6年にかけて4人減少して4216人となっている。女性の就業率は現在71%だが、この値も70%台で推移すると仮定しても、始良市の待機児童数が増加するとは考えづらい。さらに、市立保育所の民営化により稼働率が100%に達していなかった市立保育所の枠の稼働率も上昇し、待機児童解消に寄与すると考えられるので、施設整備について慎重に検討いただき、過剰設備といわれたいよう計画していただきたい。

③（委員）質疑：医療的ケア児の対応可能な施設が市内で1か所しかない。新規施設整備に際して、市から事業者へ医療的ケア児の受け入れについて働きかけは行っているのか。

⇒（事務局）新規施設整備の協議については、障害などがあり支援が必要な児童や放課後の児童支援等複数の分野で事業者と調整する形で協議を行っている。

④（委員）意見：医療的ケアが必要な子どもたちの場所を改めて整備するのではなく、地域の子どもが生活する場所で必要な支援が受けられるような環境整備が必要になってくるのではと思う。

➡ 社会福祉法人太陽の風の新規施設整備について承認

報告

①（事務局）資料②に基づき、始良市立保育所等民営移管にかかる法人選考について報告を行う。

②（事務局）資料③に基づき、子育て支援拠点施設事業について報告を行う。

質疑応答

①（委員）質疑：子ども館について、アンケート結果を見ると「子ども館が設置される場所として最も重要なことは」との項目で「駐車場が広い」「自然が多い」「交通の便が良い」との回答が大半だが、駐車場を確保できるのか。また駐車場を確保したうえで遊具が設置できるのか、全天候型となりえるのか疑問である。事業用地は加治木物産館の地で確定か。

⇒（事務局）物産館隣地の購入を行っており、駐車場70台確保し得ると考えている。事業計画地として適地か否か地質調査を行う計画であり、事業用地の確定は調査結果如何となる。

⇒（委員）質疑：駐車場が確保できるのであれば良い。ただ、その他に要望の多かった「自然が多い」に応えるには植林等が必要になってくるのではないか。

- ⇒（事務局）意見を様々いただいているところだが、すべての意見を反映させるのは難しくなってくるので、今後もみなさんからご意見をいただいて進めていきたい。
- ⇒（委員）意見：まだ施設規模が見えてこない。ただ施設をつくることが目的となり、結果小さいものしか作れませんでしたでは意味がない。一定の規模があり、保護者同士の交流スペース、遊具施設、保護者が相談できる環境、一時預かりや飲食スペース等の確保が図られないと人が集まる施設にはならない。計画をする時点でそれなりの規模で想定しないといけないのではないか。
- ⇒（委員）意見：全天候型子ども館に関するアンケートの表現・集計方法について指摘。有効回答数の記載等を改めればより説得力のある資料になるのではないか。
- ⇒（委員）質疑：公立保育所等の民営化について、過年度保護者に対して何回説明会を実施したのか。また、その内容はどのようなものだったか。
- ⇒（事務局）まず、平成31年4月に民営化実施計画について説明を行い、境界確定や埋蔵文化財宝蔵試掘調査等、主に平成31年度中の業務スケジュールを示した。令和2年4月に平成31年度に行った業務の経過報告等を予定していたが、コロナ禍のため園に赴くことができず、文書報告に替えた。民営化にかかる具体的な内容について、もしご意見があれば、直接園に赴き説明させていただく用意はしているが、本日現在具体的なご意見は出ていない状況。今後、移管先法人が決定した後は行政・保護者代表・移管先法人の三者による三者協議会を計画しており、三者協議会中で具体的な事柄についても協議させていただく用意がある。
- ⇒（委員）意見：市全体の課題は、「保育士の確保」。市内の年齢別人口を見ると働き盛りの若い働き手世代の人口が少なくなっている。それに加えて始良市の保育士が家賃補助の取組がある鹿児島市の保育施設にいたり、魅力的な保育施設には所在が遠方であろうと市町村をまたいでわざわざ通ったりする働き手が実際にいる。始良市で若い人が働きやすくなる施策が必要ではないか。例えば、始良市で保育士と働くことで返還義務がなくなる奨学金の創設等。また、子どもを預けなくても生活ができる補助、家庭保育者への補助があれば、無理して働かなくても子育てができるようにする施策というのものもあるのではないか。

その他

（事務局）今後の予定について

事務局より今後の会議日程について、委員へ提案。

（委員）了解。